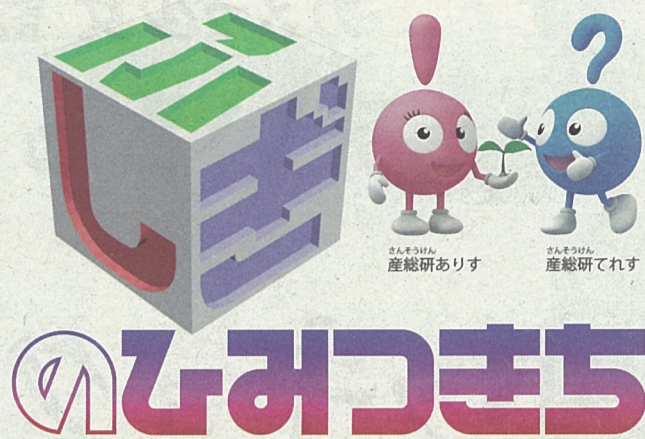


今回のテーマ

人は幽体離脱 できるの？



No.044

脳の一部を刺激すると、ふしぎな感覚を引き起こせることが科学的に証明されています。

自分が自分の体から離れて、自分で自分を見ている——。こわい話でよくあるふしぎな体験を「幽体離脱」と呼ぶことがあります。こうした体験の中には科学的に解明されているものもあります。

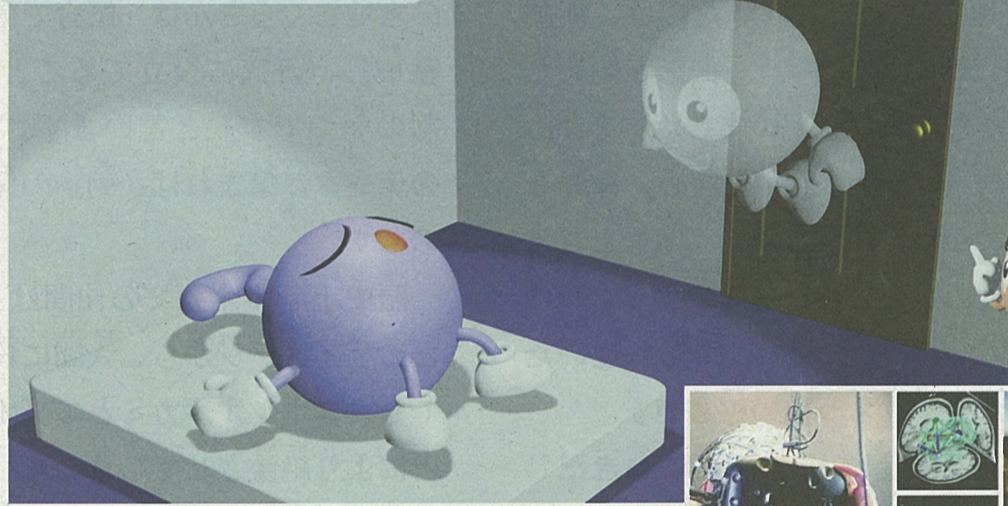
◇脳を刺激すると

研究上は、幽体離脱を「体外離脱体験」といいます。人の脳の特定の部分を刺激して、引き起こすことができます。この部分には自分の体の位置を認識する働きがあり、電気による刺激で一時的にその働きを乱すことで、自分が体から出てしまったような感覚を作り出せると考えられています。同じように脳のある部分を刺激すると、「何かがいる！」という感覚が起こることも報告されています。

◇VRで幽体離脱も

VR(バーチャルリアリティ、仮想現実)は、専用のゴーグルを装着し、目の前の映像の世

寝てる自分を空中から見てる
…そんな体験を「幽体離脱」
っていうみたいだよ



おなじような
感覚を
科学的に
つくる研究
もしてるん
だって



界にいるように錯覚させる技術です。VRの映像はコンピューターが作り出したものです。自由に変化させられるので、幽体離脱が起きているように錯覚させることもできます。

このように外から与える刺激を工夫し、錯覚をうまく使うことで、ふしぎな体験を自由に引き起こすことができます。錯覚には、目の錯覚だけでなく、さま

ざまなものがあります。その中には長年、幽体離脱をしたり幽霊を見たりといった、作り話と思われてきた現象を説明できるものもあるのです。

産業技術総合研究所では、埼玉大学との共同研究で、VR上で幽体離脱などの特殊な体験をした時の脳の反応を計測し、脳への影響を調べています。人の身体能力を変化・向

上させる「身体拡張技術」の開発も盛んになっています。

一方で、そうした技術が脳に新たな体験をもたらし、人に望ましい影響をあたえるのか、それとも意図せずに望まない変化をもたらし、正常な脳の働きを損なうことはないかを明らかにすることも、安全でより良いVRの利用に向けて重要になってきます。

今日の先生



金山 範明さん

「心理学の博士です。アリの観察で脚を10本描いてみて『いるかも!』と言いつけるような子でした」

産業技術総合研究所(産総研)人間情報インタラクション研究部門。専門は人の感覚と脳波の研究。出身小学校は旧・東京都渋谷区立本町東小。

さんそうけんって？

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブサイトはこちら →
(さんそうけんサイエンスタウン)

